

# 令和5年度 事業計画書

公益財団法人新潟医学振興会

区分	事項	事業	事業内容	対象者等	予算額	備考
1	地域社会への医療の安定供給に関する事業 (90千円)	(1) ネットワーク等を活用しての地域の医療情報、医師求人情報の収集と開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な医師確保のために、新潟県出身で県外の大学で学んでいる医学生並びに新潟大学医学部の学生宛に、新潟県の医療機関での医療や研究を勧めるダイレクトメールを送る(県知事、医学部長、同窓会長名などで)</li> </ul>	医学系学生	90千円  (通信運搬費、旅費、交通費、資料作成費、会議費等)	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>財団のホームページを活用し、医療情報、求人情報の収集と開示を行う</li> </ul>	地方自治体、医学系学生、研修医、医学系大学教員、病院勤務医、開業医、その他の医療関係者		
		(2) 地域医療安定へ向けての県、市町村及び医療関連団体間の情報交換に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>財団のホームページを活用し、県、市町村及び医療関連団体間の情報交換を行う</li> </ul>	地方自治体、医学系学生、研修医、医学系大学教員、病院勤務医、開業医、その他の医療関係者		
		(3) 新潟県内の病診連携などの診療体系改善に関する情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師、技師などのコ・メディカルスタッフも含めた県内の医療現場の実情についての率直な情報交換</li> <li>医師確保、院内感染対策、リスクマネジメント対策などの情報交換</li> </ul>	新潟県内の病院や病院長		
(預り金処理) (670,504千円)	(4) 医師養成修学資金貸与事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、新潟県内の市町村等の医療機関の医師として地域医療を担おうとする医学生に対して修学資金を貸与し、その修学を支援する</li> <li>地域医療研修の支援</li> </ul>	大学において医学を専攻する大学生で、将来、新潟県内の市町村等の医療機関に医師として勤務する者	重点コース (県外医学生枠) ○県外国公立大枠 (150千円×12月×5人) ○県外私立大枠 (300千円×12月×5人) ○新潟大学医学生枠 (150千円×12月×5人) ○新潟大学医学部「地域枠B」入学生枠 (150千円×12月×24人) ○順天堂大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×11人) ○一般コース (50千円×12月×5人)	公募方式 医師養成修学資金協議会運営委員会で審査 ※令和2年度から名称変更[新1年生・2年生・3年生・4年生分は別途計上] ※令和5年度からは1名 ※令和2年度から募集停止	

区分	事項	事業	事業内容	対象者等	予算額	備考
		(4) 医師養成修学資金貸与事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、新潟県内の市町村等の医療機関の医師として地域医療を担おうとする医学生に対して修学資金を貸与し、その修学を支援する</li> <li>・地域医療研修の支援</li> </ul>	大学において医学を専攻する大学生で、将来、新潟県内の市町村等の医療機関に医師として勤務する者	<p>重点コース</p> <p>○新潟大学医学部「地域枠」入学生枠 (150千円×12月×122人)</p> <p>(新潟県育成枠) ○県外国公立大枠 (150千円×12月×8人)</p> <p>○県外私立大枠 (300千円×12月×16人)</p> <p>○新潟大医学生枠 (150千円×12月×13人)</p> <p>○関西医科大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×8人)</p> <p>○昭和大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×16人)</p> <p>○東邦大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×12人)</p> <p>○東京医科大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×5人)</p> <p>○杏林大学(新潟県地域枠) (年額7,000千円×5人)</p> <p>○日本医科大学(新潟県地域枠) (300千円×12月×2人)</p> <p>○日本大学医学部(新潟県地域枠) (年額6,600千円×2人)</p> <p>○北里大学(新潟県地域枠) (年額6,600千円×2人)</p> <p>([地域医療研修] 10,804千円 [一般コース5年生面談経費等] 100千円</p>	<p>※令和2年度新設</p> <p>旧「地域枠B」定員増 従来12人 R2年から22人 R3年から27人 R4年から33人 R5年度から40人</p> <p>※令和2年度から県外医学生枠から移行</p> <p>※令和2年度から新設</p> <p>※令和3年度から新設</p> <p>※令和4年度から新設</p> <p>※令和5年度から新設</p>

区分	事項	事業	事業内容	対象者等	予算額	備考
2	医学及び医療の振興に必要な教育・研究及び学会等に対する助成(31,853千円)	(1)若手の基礎医学、臨床医学、予防医学研究者への奨励金支給	・若手研究者の育成を目的とした基礎医学、臨床医学、予防医学研究者への奨励金支給(有任記念学術奨励賞)	医学系大学、その他教育機関及び産官の研究者(45歳以下)	1,500千円 (奨励金500千円×3人)	公募方式 審議委員会で審査
		(2)国際協力・国際交流への助成	・医学部学生の海外研修への助成 ・教員の海外研修への助成 ・外国人留学生、交換留学生事業への助成	医学系大学、その他教育機関及び産官の研究者、医学系大学、その他教育機関の学生(外国からの留学生も含む)	200千円 (200千円×1件)	
		(3)指定研究助成金の交付	・医学研究や新潟県内で開催される学会など医学医療の学術振興事業に対する助成	医学系大学、その他教育機関及び産官の研究者	29,630千円	
		(4)卒前・卒後の医学教育推進のための助成	・卒前・卒後の医学教育推進のために、臨床研修病院間における指導医の相互交流を密にし、質の高い教育実績を上げることを目指す	医学系大学、その他教育機関の教員、指導医	200千円 (旅費、交通費、資料作成費、会議費等)	
		(5)医科系大学教授による卒前・卒後の医学教育及び研修に対する情報交換	・全国から集まる医学系大学などの教授による医学教育及び研修に対する情報交換を通じ全国の動向を把握し、医学教育及び卒前・卒後研修の展望に反映させる	医学系大学、その他教育機関の教授、新潟県内病院の病院長	323千円 (旅費、交通費、資料作成費、会議費等)	
3	臨床研修体制の整備に対する助成等(4,300千円)  (預り金処理) (58,350千円)	(1)新潟県での臨床研修希望者に対する情報提供と助成等	・新潟県で臨床研修を行う研修医に奨学金を支給する	臨床研修医	15,600千円 (助成50千円×12月×26人) (内訳) 財団独自予算 7人分 4,200千円 県貸与資金 19人分 11,400千円	公募方式 審議委員会で審査
			・臨床研修修了後、県内で産科医・精神科医・救急科医・麻酔科医・総合診療科医として勤務する研修医に奨学金を支給する	産科・精神科・救急科・麻酔科・総合診療科を目指す臨床研修医	県貸与資金 (助成200千円×12月×14人) 33,600千円	
			・新たに新潟県内で臨床研修を開始し、一定期間県内で勤務する若手医師などに対し、留学のための研修資金等を支給する	後期研修医等	県貸与資金 (4人分) 13,350千円	
		(2)臨床研修体制、大学院大学のシステム情報提供	・財団のホームページやダイレクトメールを活用し、臨床研修体制、大学院大学のシステムに関する情報提供を行う	医学系大学、その他教育機関の学生、研修医		
		(3)大学、臨床研修病院の医師を対象とした臨床研修指導医講習会への支援	・年1回医歯学総合病院と共催で臨床研修指導医講習会を開催する ・魅力ある臨床研修により医師の確保を図るための臨床研修指導医講習会を充実強化して、県内の臨床研修病院の研修指導医の資質向上を支援する	医学系大学、その他教育機関の教員及び臨床研修病院の指導医(50人程度)	100千円	

区分	事項	事業	事業内容	対象者等	予算額	備考
4	医療関係者への医学及び医療情報の提供に関する事業(846千円)	(1) 医師からの医療に関する相談対応と先端医療の情報提供	・財団のホームページを活用し、医師からの医療に関する相談に対応するとともに、先端医療の情報提供を行う	研修医、医学系大学教員、病院勤務医、開業医、その他の医療関係者	746千円 (医学情報ホームページの維持管理費)	
		(2) 最先端医療に関するシンポジウム、研究会開催の助成	・新潟医学会と共催で最先端医療に関するシンポジウム、研究会を開催する	医学系学生、研修医、医学系大学教員、病院勤務医、開業医、その他の医療関係者	100千円	
5	県民の健康教育の普及向上に関する事業(1,770千円)	(1) 市民公開講座及び大学公開講座への助成	・市民公開講座(有任セミナー)、大学公開講座開催に対して助成を行う(講師派遣を含む)	市民講座を主催する医学系大学、その他の医学関連機関(受講者は一般市民)	1,540千円	
		(2) 先進医療普及のための啓発活動に対する支援	・臓器移植などの先進医療普及のための啓発活動に対する支援	医学系学生、研修医、医学系大学教員、病院勤務医、開業医、その他の医療関係者(啓発の対象者は一般市民)	200千円 (100千円×2)	
		(3) 医学資料保存への支援	・貴重な医学資料保存のための調査などに支援する	医学系大学	30千円	
6	先端的医療技術の産官学連携に関する事業(100千円)	先端的医療技術の向上発展に関する産官学連携事業への支援	・財団ホームページなどのネットワークを活用した産官学連携事業の情報提供(事業計画案の開示、事業の進捗状況等)と支援	医学系大学、その他教育機関及び産官の研究者	100千円	
7	その他目的達成に必要な事業(500千円)	(1) 賛助会員拡大のための広報活動			350千円	
		(2) 事業年報の発行			150千円	